

「意見交換会の実施状況について」

開催日	場所	会場	時間	出席者数
平成15年6月28日(土)	大津	ピアザ淡海	14:00～17:00	142
平成15年6月29日(日)	木之本	伊香郡民会館	14:00～16:50	301
〃	高島	アイリッシュパーク	14:00～16:20	41
平成15年7月6日(日)	守山	守山商工会議所	14:00～16:50	45
〃	宇治	宇治市生涯学習センター	14:00～17:10	76

6月下旬から7月初めにかけて、近畿地方整備局、琵琶湖河川事務所、大戸川ダム工事事務所では、住民の方々を対象に5会場で、「淀川水系河川整備計画についての意見交換会」を行いました。意見交換会では、先ず前半に、流域委員会で説明させて頂いた、丹生ダム、大戸川ダム、天ヶ瀬ダム再開発についての説明を行い、後半は、参加者と河川管理者との間で意見交換を行いました。

本資料はその意見交換の内容をとりまとめたものです。とりまとめた当たっては、一部の方（文中で「確認中」となっているもの）を除いて、発言者にその内容について確認をして頂いております。

但し、本資料は「意見交換会」の内容を、会場に来ていただけなかった方々に、出来るだけ早くその内容をお伝えすることを目的に作成したもので、今後、内容の充実を図っていきます。

なお、5会場のうち7月6日に実施した2会場分については、現在、発言者に内容を確認しております。

本日用意が出来ていない2会場分も含めて、確定が出来た段階で、その内容を琵琶湖河川事務所のホームページに掲載させていただきます。

淀川水系河川整備計画についての意見交換会

～丹生ダム、大戸川ダム、天ヶ瀬ダム再開発について～

大津会場 意見・質問とその回答

平成 15 年 7 月 12 日

近 畿 地 方 整 備 局

意見交換会の概要

日時 平成 15 年 6 月 28 日(土) 14:00～17:00

会場 ピアザ淡海 大会議室

出席者数 142 名

淀川水系河川整備計画 意見交換会（大津会場 2003/6/28）質問・意見とその回答

発言者(敬称略)	質 問	回 答
<p>広瀬 修</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大戸川は古くから災害をもたらしてきた危険な河川であり、昭和 28、34、57 年と大きな災害をうけてきた。 ・ 大戸川ダムは大戸川の本格的治水対策として、地元の強い要望を受け計画が決定された経緯があり、建設に積極的に取り組んできた。水没地区の 55 戸の住民は集団移転をされ、その思いは計り知れないものがある。 ・ 本年 1 月に淀川水系流域委員会から「原則としてダム建設はしない」という提言がされ、近畿地方整備局ではダム計画の見直しをされているが、地元は提言の内容は容認できるものではない。 ・ 大きな犠牲を伴いながら、ダム建設事業推進に努めてきた。この犠牲を認識のうえ、生命財産をまもるため、事業をやめることなく、遅らせることなく、進めていただきたい。 	<p>(広瀬氏、山本氏、周防氏への回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地元からはご理解と協力をいただきありがたく思っている。 ・ 調査・検討すべき課題については、詳細に詰めて、早急に結論を得たいと考えている。
<p>山本 俊一</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 私は、大戸川ダム砂防協会会長を過去 25 年努めてきた、また、過去の被害、損害は身をもって体験してきた。 ・ 地元は昭和 51 年に調査費がついた時から、ダム建設に取り組み、地域としては 1 枚の反対ビラもないという状況である。 ・ 琵琶湖河川事務所並びにダム関係の職員方々は、いろんなデマ、いろんな情報に惑わされることなくダム建設に取り組んでいただきたい。 	

淀川水系河川整備計画 意見交換会（大津会場 2003/6/28）質問・意見とその回答

発言者(敬称略)	質 問	回 答
周防 農生夫	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元はダム建設の促進に強い願いをもっている。 ・ 既に事業化され、付替県道等の工事が進捗しているダム建設事業に対して、「ダムを建設しない」といった提言が出され、地元では先行き不安が非常に募っている。これを解消することが急務であると考えている。 ・ この先どういう雨が降るか、これも予測はつかない。地域住民は非常に不安を募らせている。 ・ 田上山系及び金勝山系は地質上非常に流れやすい土質になっており、自然環境または水環境について議論されている。地元では今後、ダム事業・砂防事業と十分な連携を図りながら自然環境再生への森づくりを進めるといふ地道な活動を展開している。 ・ 過去の公共事業の決定プロセスにいろいろと問題があったという指摘があるが、事業の長期化による事業効果の発現が遅れ、またそれに伴うコストの増大といった大きな影響が発生することも考えられる。事業化されているものについては、一刻も早い整備計画の策定することが、地元の強い要望である。ぜひともダム建設を進めていただきたい。 	

淀川水系河川整備計画 意見交換会（大津会場 2003/6/28）質問・意見とその回答

発言者(敬称略)	質 問	回 答
中西 弥兵衛	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大戸川は洪水調節を主とする多目的ダムとして計画された。 ・ 丹生、大戸、日吉、布目、大滝等の上流ダム群を建設することにより淀川本川枚方大橋附近での洪水量を調整する。そのために必要なダムであるという方針であった。変更はあるのか。 ・ 見直しのために調査・検討をしなければならないということであるが、昭和61年6月以降、実施計画調査に着手されており、十分検討されたのではないかと、今さら何を調査・検討する必要があるのか。 ・ 大戸川ダムは信楽町にはなんのメリットもなく、下流1,300万住民の命を守るためには仕方がないということと、計画に合意した経緯がある。 ・ ダム上流の地元は地域整備を含めて、インフラ整備に期待している。躊躇することなく、一刻も早く着工していただきたい。また、県道大津信楽線の付替、上流の大戸川の河道改修を含む河川改修、これらを早急に進めていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 下流の脆弱な堤防の危険性を増大させるような狭窄部の開削を今行うことは下流の被害ポテンシャルを高めるということになるため、狭窄部は当面開削できないものとして計画の見直しを行うという観点になっている。 ・ 大戸川ダムは下流の大戸川・宇治川・淀川の洪水被害の軽減、被害ポテンシャルの低減には必要であると考えている。 ・ 今後調査・検討しなければならないのは、新たな河川整備計画の考え方として、流域委員会からの提言を受けた、琵琶湖の環境改善、また狭窄部上流の浸水対策など緊急に対応しなければならない事項である。 ・ 県道大津信楽線は地域の方々の生活に必要な道路と位置づけている。付替県道、工事に必要な迂回路並びに工事用道路は、地元の生活に必要な道路であり今後も工事を進めていく。
中西 敏弘	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日吉ダムの利水容量を大戸川ダムに振り返るということであるが、振り替えるなら、下流の受益者に負担をしてもらうことになるのか。それができない場合はどこが負担するのか。 ・ 滋賀県に過大な負担を求められることがないのかという危惧がある。ダムの目的が環境保全であるなら、国土交通省が全額負担するというような意見がききたかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 費用負担は明確に調整されたものはない。 ・ 振り替えの目的は治水のためである。費用負担は治水のための費用となる。 ・ 利水者に新たに負担を求めるというものではない。 ・ 負担金等について今後、詳細に検討する。

淀川水系河川整備計画 意見交換会（大津会場 2003/6/28）質問・意見とその回答

発言者(敬称略)	質 問	回 答
平尾 健太郎	（ダム計画に関する基本的な考え方に関する意見と質問をいただきました。発言の内容を現在、確認中です）	
片岡 明彦	<ul style="list-style-type: none"> ・ 川辺川ダムでは、上流から水が運んできた山の表面の土や栄養分をため、放流の際に栄養分もダムから放出され、川を汚すと言われている。 ・ 今回の見直し案ではダムによる琵琶湖の水質の保全と言っているが、それとは逆のことが起こると心配している。 ・ 丹生ダムでは、瀬切れにより、アユが死ぬという報告があったが、ダムができれば、アユが遡上できなくなるのでは。 ・ 長年こういうことをしてきて、環境に関する報告がなぜないのか。 ・ ダムに砂が貯まらないようにするというのは、本当にできるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 琵琶湖に流入する栄養塩の総量は変わらない。ただ、ダムができることによって貯留されて、水質が悪化する。貯水池の水質の保全、水温等を含めて今後調査・検討していく。 ・ 姉川では姉川ダムが完成し、ダムから渇水時に補給をしており、アユが遡上している。 ・ アユの産卵場は河口域にある。そこが瀬切れしないかが重要である。丹生ダムの位置は産卵場よりも上流にあり、瀬切れしない場合に、ダムがあればそこからは遡上ができないということはあるが、産卵場という意味ではほとんど影響はない。 ・ 細かい粒子を貯まらなくするというのは不可能だが、ある程度下流に流すといういろいろな方法はある。 ・ 環境の保全という従前の目的と異なったものが追加され、これにともなってダムの運用等についても今後、そういう観点から検討が必要である。

淀川水系河川整備計画 意見交換会（大津会場 2003/6/28）質問・意見とその回答

発言者(敬称略)	質 問	回 答
松下 彰宏	<ul style="list-style-type: none"> ・ ダムの環境に関する有効性についてききたい。堤防をつくるなど、代替案があるのではないか。 ・ 丹生ダムの目的には発電があるが、発電量は足りており、電力需要の大きい夏には水がなく発電はできないのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 治水の代替案は一般的には、河道掘削、堤防かさ上げ、引き堤などの河道改修、また洪水流量を抑えるためにダムや遊水池、または放水路などがある。今回、丹生ダム及び大戸川ダムで治水の代替案等について説明をしていないが、この区間の河川管理者と河川整備計画と調整を図りながら進めていきたい。 ・ 丹生ダムでは従属的な発電は現計画で考えている。貯水池の運用を検討する中で有効的な発電が可能かどうかも含めて検討していく。
雲林院 正昭	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大戸川ダムを建設されることにより上流地域における洪水がより軽減されるという説明が理解できない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多羅尾災害の例を挙げたように大戸川流域のほとんどが花崗岩の地質であり、流域全体でこのような危険性を秘めている。 ・ 大戸川ダムができることにより、大戸川発電所の堰堤を撤去できれば、その分せき上げている水位が低減されるという効果は必然的にあらわれてくる。

淀川水系河川整備計画 意見交換会（大津会場 2003/6/28）質問・意見とその回答

発言者(敬称略)	質 問	回 答
大居 喜代勝	<ul style="list-style-type: none"> ・ 移転を余儀なくされた住民の一人として発言する。ダムの下流地域の洪水、濁水の被害から守る為、又、地域の発展のためには、ダムの建設以外にはないという建設省始め行政の話に移転に合意した経緯がある。 ・ 近年では、異常気象により、災害や濁水がおきる可能性は高まっており、ダムをつくる意義は何ら変わっていない。ダム計画の見直し案で「治水対策において大戸川ダムは有効である」との位置づけをしていただいたことは大いに評価している。 ・ 今になって環境の破壊が非常に大きな見直し論議の一つになっており、淀川水系流域委員会でも新たな河川環境計画のあり方が提言されている。しかし大戸川ダムの計画では環境アセスメントが行なわれダムの存在や利用による影響を最大限考慮したダム計画が現在まで進められてきたはずである。 ・ 新たな理念によって自然の摂理による河川の整備やダムづくりとかは、新しく計画される事業にはともかく、ここまで進んできた大戸川ダムに関しては当たらない。財政緊縮による事業進捗の遅れや、より効率的なダム建設のための見直しはともかく、今の段階で新たな河川整備の理念やあり方を論議されていることが理解できない。 ・ 大鳥居町住民が生まれ育った土地を離れた意義は何だったのか？この自問にはダムが完成して初めて答えが出る。私達の後世にもそのことをしっかり伝えたいと思う。このために早期にダム本体の着工に向けて建設を進める努力をしていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 狭窄部の開削をしないということから、見直しの必要が生じた。 ・ 見直し案について早急に詳細な検討を実施し、早く結論を出したい。 ・ 貴重な御意見として承りたい。

淀川水系河川整備計画 意見交換会（大津会場 2003/6/28）質問・意見とその回答

発言者(敬称略)	質 問	回 答
今井 恵之助	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大戸川ダムの目的は、85%が下流の洪水調整である。利水に関しては水需要の考え方に間違いがあること、また環境に配慮されていないという観点から、過去においては計画に反対してきた。しかし、下流地域が受ける恩恵や、多羅尾災害などで大きな犠牲を出したことを考えると、極めた反対はしてこなかった。 ・ ダム上流域で人口10,000人以上の町はなく、過疎地が多い。下流のためにダムを建設するなら、ダム上流域への対策をしてほしいという運動をしてきた。 ・ 平成6年の水資源対策特別措置法の改正、平成9年の河川法改正により、自然との共生がいわれるようになり、ダム計画においても一定の対策が実施される事を前提に、20数年前からの反対の決議が、4年前に町議会において見直されたところである。 ・ このような長い経緯を経てダムが計画されているにもかかわらず、ダムを原則として建設しないという淀川水系流域委員会の提言には驚いた。大戸川ダムの見直し案の説明を聞いて安堵しているところである。 ・ ダムにより生態系を破壊するということも確かにある。琵琶湖の環境を守るためのダムということであれば、琵琶湖総合開発の精神を生かしたダムにしてもらわないとならない。 ・ 人と自然が共生した計画が望まれる。環境に配慮し早期の実現に向かっていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 貴重な御意見として承りたい。

淀川水系河川整備計画 意見交換会（大津会場 2003/6/28）質問・意見とその回答

発言者(敬称略)	質 問	回 答
田中 豊治	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大津放水路の1期工事は来年には一部通水予定と聞き、感謝している。 ・ 第2期工事の対象河川は川幅小さく、洪水の被害が心配です。安心して暮らせるためには、大津放水路が必要不可欠な事業である。引き続き工事に着手していただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 淀川水系河川整備計画では、破堤による被害の回避を目的としている。具体には流域として水をためる、避難等のソフトの対応を行なう。それで不足の場合はハード対策を実施することとしている。 ・ 2期区間を直ちに行なうと位置づけているものではないが、今後二、三十年にわたって実施しないと位置づけているものでもないということでご理解をお願いしたい。
福井 和義	<p>(大津放水路について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 6月20日の説明資料(第2稿)では、実施しないと決めたものではないけれどもその取り扱いが決まっていないと回答されている。その意味がわかりかねるので、教えていただきたい。 ・ 大津市から今年の2月に意見を出しているが、それをどのように整備計画に反映しているのか。 ・ 意見交換会をどしどし行なって、流域委員会の意見だけでなく住民等の意見を十分に聞いていただきたい。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 20～30年の間の計画を決めるのが河川整備計画である。それなのに20～30年の間にわたって実施しないと決めたものではないということがわからない。それであるなら、河川整備計画に記述するべきである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第2期区間についてすぐにやるのか、あるいはしばらくやらないのか、どのぐらいの間をあけるのかといったようなこと、これらを含めて取り扱いが決まっていないという意味である。 ・ 最終的には、整備計画の原案として決まっていくということになる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 扱いがこの整備計画の第2稿の中でも決まっていないということである。 ・ それを早く決める、あるいは直ちに実施すると位置づけよというご意見を今賜ったものだとして理解している。

淀川水系河川整備計画についての意見交換会

～丹生ダム、大戸川ダム、天ヶ瀬ダム再開発について～

木之本会場 意見・質問とその回答

平成 15 年 7 月 12 日

近 畿 地 方 整 備 局

意見交換会の概要

日時 平成 15 年 6 月 29 日(日) 14:00～16:50

会場 伊香郡民会館 大ホール

出席者数 301 名

淀川水系河川整備計画 意見交換会（木之本会場 2003/6/29）質問・意見とその回答

発言者(敬称略)	質 問	回 答
近藤 斉伸	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歴史的にも大きな被害を受けており、また、今後、地球の温暖化による気象条件の変化からも大きな降雨や渇水が生じると考えられ、丹生ダムの効果は大きいと思う。 ・ 高時川では、地下水の利用が多く、水質も良好であった。今は、川では瀬切れも発生しており、このような渇水状況は重大な問題である。ダムを早期に完成させてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 最近の異常降雨については、十分認識しており、従来 of 計画規模を想定しての改修では異常降雨には対応が困難である。 ・ どんな雨に対しても被害をゼロにすることは不可能である。堤防やダム以外に、土地規制等のソフト的な準備も含め、被害を最小限にすることを考えていく。 ・ 瀬切れについて十分問題として認識している。また、洪水対策として、天井川を平地化するという案もあるが地下水への影響も考えられ、実施する場合は、慎重に検討する必要がある。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 工事中の水質悪化も考えられるが、どのように考えているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 工事中の濁水については水資源公団が十分に対応していただいている。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ ダム建設によって、BOD の変化や生態系の影響も考えられるが、これらはシミュレーションされ、把握されているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長期的な濁水については、今まで計画していた貯水池運用ではあまり影響はないと検討結果がでていたが、琵琶湖の水位低下抑制のための放流や、貯水池の運用計画を変えるので、更なる調査・検討を行なう必要があると考えている。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ ダムの寿命について知りたい。ヘドロや土砂が堆積していくが、どのように対処するのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ダムの寿命については、半永久的にあると考えている。堆砂容量については、100 年分を見込んでいる。堆積した土砂は除去するなどの管理も行なう。付帯施設についても、定期的に交換する。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画しているダム上流の山林を伐採し、倒伏した樹木をそのままにして貯水し始めるので、木が腐敗して水質が悪化するのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ダム湖に入る流木等は定期的に除去する。問題は生活雑排水の流入であるが、その場合は、上流に下水道施設の整備等を行なう。丹生ダムでは、あまり心配はない。

淀川水系河川整備計画 意見交換会（木之本会場 2003/6/29）質問・意見とその回答

発言者(敬称略)	質 問	回 答
近藤 斉伸	<ul style="list-style-type: none"> 丹生ダム 高時川 琵琶湖を治水、利水、環境について一体のものと捉えることが大切であり、浚渫等河川の機能整備と琵琶湖整備が急務である。 環境教育的な意味で、子供たちが水辺利用を行なえるように整備してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 高時川自体の整備については、姉川、高時川を管理している滋賀県が、「淡海の川づくり検討委員会」の場で議論されているので、県と連携を図りたい。
小野 富雄	<ul style="list-style-type: none"> 丹生ダムの全体予算の 1,500 億のうち、既に 500 億を使っているが、残りの予算でダムの整備が行えるのか。 今日の資料に示す M29 年の雨量を専門家に聞くと、500 年に 1 回の降雨と言っているが、丹生ダムはこの様な降雨に対応が必要なのか。 ダムがない時は、冬季の冷たい水が琵琶湖の湖底に入り、アオコの発生を防いでいると聞くが、ダムを作って水が温暖化しては問題ではないか。 ダムの堆砂容量は 700 万 m³ とのことだが、何年間で満杯になる計算なのか。 余呉川において、琵琶湖総合開発では、1.5m 河床を下げるといって、国道 8 号よりも下流で工事が止まっている。洪水には、ダムを作るより河床掘削のほうが良いのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 現在、貯水池内の用地買収はほぼ完了している。今後の事業費は、未定の部分もある。治水事業は国の根幹にかかる事業なので必要なものは当然やっていく必要がある。 M29 年の降雨は確かに異常な降雨だが、実際に発生した降雨なので、明日発生しないとも限らない。 琵琶湖の水位低下抑制のための放流により、琵琶湖に負荷がかかることも考えられ、今後調査・検討しなければならない事項である。 丹生ダム近くの実績を見ながら、100 年間の堆砂量を見込んでいる。 確かに河床掘削は代替案の一つではある。しかし、高時川沿川では地下水が利用されている範囲が非常に広く、河床掘削による地下水低下の影響も慎重に考える必要がある。
谷嶋 昭吾	<ul style="list-style-type: none"> 淀川水系流域委員会の職務なり、権限がどうなっているかが知りたい。 ダム事業等について調査、審議する場合に、流域委員会の提言が最終的な判断になるのか。この委員会がノーと言え、住民が賛成しても事業の実施ができないのかどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 整備計画そのものは河川管理者が策定するものである。その策定に当たってさまざまな方のご意見を聞いた上で、私も策定をしたいと思っている。その 1 つとして学識者からなる流域委員会があり、また住民の皆様があり、そして市町村あるいは県といった関係機関がある。

淀川水系河川整備計画 意見交換会（木之本会場 2003/6/29）質問・意見とその回答

発言者(敬称略)	質 問	回 答
佐藤 登士彦	<ul style="list-style-type: none"> ・ ダム事業は有望な案と言う整備局の意見に賛成。流域委員会の意見に対して、今後1,2年かけて調査を行うと言っているが、ダム本体工事完成のH22年は守れるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後調査に1、2年かかると話は、一般論としての話で、このダムによって調査検討に要する時間は違う。いずれにしても調査検討は速やかに、精一杯やっていかなければならないと考えている。 ・ 丹生ダムが有効であるという説明の中に、琵琶湖の環境改善という部分については、これまでの丹生ダムの運用になかったもので、今後の調査が必ず必要と考えている。 ・ 琵琶湖に水を補給することになると、水質面の影響、高時川にある期間かなりの水量が流れることになるので、そういった影響というのは検討を実施していない。 ・ これらをきちんとやった上でないと調査・検討を終えることはできないと思っている。
酒井 研一	<p>（丹生ダムに関する意見と質問をいただきました。発言の内容を現在、確認中です）</p>	

淀川水系河川整備計画 意見交換会（木之本会場 2003/6/29）質問・意見とその回答

発言者(敬称略)	質 問	回 答
橋本 正	<ul style="list-style-type: none"> ・ 流域委員会の性格、役割がどういうものか大変疑問である。 ・ 淀川流域委員会が出した提言では、もう既に計画中、建設中のダムであっても基本的には建設しないと言う提言の結論を出している。その結論を河川管理者が受けるかどうかだけの話である。もし、この結論を受けるなら、淀川水系流域委員会が河川管理者になるべきだということになる。 ・ 河川管理者が今後2年何を調査するのか、調査内容を明らかにして欲しい。流域委員会に説明し理解を得るということになっている。 ・ 理解が得られなかったら事業はできないのか。事業に対する最終的なジャッジをするのが淀川水系流域委員会になってしまうが、その点はどうか。 ・ 私の聞いた所によると、流域委員会が今までに使った金額は、平成15年3月末までに8億5240万円にも上っているが、この金額の明細を公開して欲しい。また、これからまだまだ続いていくと思われるが、どうなのか。 ・ 流域委員会の委員が現地に来て調査をしたというのはわずか30分間である。今日までに、何回現地に入り、どのような調査をしたのか、明確にすべきである。 ・ この人たちが住民の意見が重要だといっているが、この「住民」の範囲を明確にして欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 流域委員会の提言がダムをすべてに否定しているとは考えていない。ダムは効果もあるがデメリットもあり今後も調査・検討を行っていく。 ・ 流域委員会の開催で経費がかかっていることは事実だが、必要なコストであることは確かである。安い会場を使うなどで経費の削減にも努力している。

淀川水系河川整備計画 意見交換会（木之本会場 2003/6/29）質問・意見とその回答

発言者(敬称略)	質 問	回 答
橋本 正	<ul style="list-style-type: none"> ・ 流域住民の中に、京都や大阪の人も入っており、意見を聞く範囲が広すぎるのではないか。 ・ 淀川水系流域委員会は、地元の代表者の構成メンバーになっていない。これで、公平な意見が言えるわけがない。 ・ 明確に答えて欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 住民の定義というのは難しい議論だと思うが、少なくとも淀川流域に住んでいる方々は計画に密接に関係していると思い、河川整備計画の説明に当たっては、流域の方々に説明をしている。 ・ 流域委員会の意見や皆さんの意見を聞いて、河川管理者が策定していく。
寺村 京子	<ul style="list-style-type: none"> ・ ダム建設に反対である。 ・ 1億5千万m³の水をためて1年間で何回放流する機会があるのか。 ・ ダムがなかった今までの30年間に、ダムがなかったことによつてどのようなデメリットがあったのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ダムの容量は、治水容量、堆砂容量や琵琶湖の環境改善、利水容量などをあわせ1億5千万m³となるが、現在、利水については精査確認中である。 ・ 今までに、洪水や河川の瀬切れなどがたびたび発生している。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 木之本に400mmの降雨があった、とパンフレットに記載されているが、その時、上流の丹生ダム近辺でも同様の豪雨があったのか。下流の木之本だけに局地的に降ったのであれば、上流に丹生ダムを作っても、洪水対策にはならないのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ダムよりも上流で降った雨をダムで蓄えるので、蓄えた分は木之本には流れてこない。明治時代には降雨観測所は少なかったが、等雨量線図を描いて見ると、ダム上流域にもかなりの雨が降ったことが推測できる。

淀川水系河川整備計画 意見交換会（木之本会場 2003/6/29）質問・意見とその回答

発言者(敬称略)	質 問	回 答
北村 又郎	<ul style="list-style-type: none"> 高月町は高時川の伏流水で生活している。工業用水・上水道水・防火用水総ての生活用水を伏流水に頼っている処です。馬上地区という 140 戸の集落で高時川の伏流水を簡易水道として使っているが、それが一昨年、瀬切れが長く続いた。高時川上流の農業用水の取水を止めて、数日すると地下水が回復してきた。今、町で井戸を掘って水道水源としており、地下水に頼っているのが現実。高時川の伏流水があれば、地下水が期待できるが、瀬切れしている状態は深刻な問題である。これは高月町のみならず、湖北町・びわ町にも及ぶ広域的な問題であり、ダムに反対する意見も分かるが、町民の命にかかわることであり、ダム建設を是非お願いしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 伏流水のことについては今日の説明では十分話す時間がなかったが、ご指摘の通り地域の日常の生活用水でもあり、大変大事な水だと思う。河川改修を行なうと伏流水の影響が当然考えられるので、この問題を十分頭に入れて検討すべきだと思う。
杉本 敏隆	<ul style="list-style-type: none"> 琵琶湖の環境保全のためにいろいろ考えてもらっているが、環境保全というのは、湖水位の上下動だけではなく様々な問題があるため、十分検討してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 今日は琵琶湖に及ぼす効果を中心に説明した。デメリットがあるかもしれないということについて調査をしないといけないと説明した。 今のご指摘はそういった調査をしっかりとやるということだと推測する。
	<ul style="list-style-type: none"> 瀬田川洗堰の 5 月からの急激な水位低下が、ニゴロブナ、ホンモロコ等に影響を与えていると思う。琵琶湖総合開発以降に 5 月に急激な水位操作を行ってから漁獲量に大きく影響しだした。 	<ul style="list-style-type: none"> できる範囲で、治水上支障のない範囲で、今のルールの中でできることを今年から行なっているし、来年以降も試行的にやっていきたいと考えている。
	<ul style="list-style-type: none"> 瀬田川洗堰の操作ルールの見直しを緊急にお願いしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 現在の操作ルールが絶対とは言わないが、ルールが決まった背景を十分考慮して今後検討していく。

淀川水系河川整備計画 意見交換会（木之本会場 2003/6/29）質問・意見とその回答

発言者(敬称略)	質 問	回 答
畑野 佐久郎	<ul style="list-style-type: none"> ・ 整備局は、流域委員会の意見を尊重しすぎているように思う。ダムを建設しないような発言も整備局側から聞こえる。 ・ 今日には整備局の説明を聞いたが、今後、地元の意見を聞く場をいつもってもらえるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ インターネット等で絶えず情報は公開している。ご意見もいただけるようにしている。 ・ いろんな意見をいただき、それについて検討し、答えを返させていただいている。 ・ こういう場をまた設けていきたいと考えている。その形式をどうするかは、これから考える。よろしく願いしたい。

淀川水系河川整備計画についての意見交換会

～丹生ダム、大戸川ダム、天ヶ瀬ダム再開発について～

高島会場 意見・質問とその回答

平成 15 年 7 月 12 日

近 畿 地 方 整 備 局

意見交換会の概要

日時 平成 15 年 6 月 29 日(日) 14:00～16:20

会場 アイリッシュパーク公民館 小ホール

出席者数 41 名

淀川水系河川整備計画 意見交換会（高島会場 2003/6/29）質問・意見とその回答

発言者(敬称略)	質 問	回 答
柴崎 正彦	<ul style="list-style-type: none"> ・ 丹生ダム・大戸川ダム・天ヶ瀬ダム再開発に関して、調査・検討、精査確認すると結論づけているが、どのような手法で実施期間はいつまでか。 ・ 調査・検討の結果をどのように反映するのか、そのプロセスを知りたい。 ・ 結論の情報の開示はどのように行われるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 琵琶湖の環境改善に向けては、関係する研究機関が多い、その研究成果と自ら実施する調査とあわせて調査検討をすすめていく。 ・ 検討1～2年で説明できるようにしたい。ただし、将来にわたってのモニタリングは必要になる。その手法等についてもあわせて検討していく ・ 貯水池の規模の見直し、運用方法について検討し、水質、土砂移動の連続性の確保等に関するシミュレーションも行き、それらも含めて、ダム計画に反映させたい。 ・ ダムの見直し計画が固まってから皆さんと意見交換する予定である。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 旧建設省のイメージでは環境に関して不得手ではないか。今後、対応を考えているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門の機関との連携をも含めて、調査・検討をすすめたい。
匿名	<ul style="list-style-type: none"> ・ ダムはいくら費用がかかるのか教えてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画の見直し、利水の精査確認、運用計画をまとめた上で、ダムの費用について検討する。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ ダムを計画されたのは昭和43年4月に大戸川ダム、10月に丹生ダムの二つのダムが同じ年度に計画され、丹生ダムは昭和47年の琵琶湖総合開発に基づいているが、当時、もう既にダムを造らなければならなかったのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大戸川ダムは琵琶湖総合開発には位置づけられていない。淀川水系の工事実施計画に下流の洪水被害の低減策として位置づけられている。

淀川水系河川整備計画 意見交換会（高島会場 2003/6/29）質問・意見とその回答

発言者(敬称略)	質 問	回 答
匿名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 降雨量と森林との間には相関関係があると聞いている。滋賀県の森林は44%が自然林、残りが人工林だといわれているが、ダム計画立案時点ではどのような森林状態にあったのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 森林は「緑のダム」とよばれることもあるが、対象とする大洪水には対して、流量の低減効果は十分でない。渇水時には森林により土中の水分が吸収され、河川に水が流出しないこともある。これらは日本学術会議での答申でも述べられている。したがって、洪水時、渇水時に森林だけに頼ることはできない。 ・ 森林面積の比率は資料をもちあわせていない
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中小河川改修事業においても、河川整備を実施しているにも関わらず、まだダムが必要なのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ それぞれの計画ではダムと改修による洪水調節計画があり、それにあわせて河道改修も実施されている（ダム計画が前提の河道改修である）。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 滋賀県は環境県である、と知事が宣言している。今回のダム計画に関しては、どのように環境に配慮しているのか。また、今後どのように取り組んでいくのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成9年に河川法が改正され、環境の保全が目的の一つとなった。生物の連続の移動、流砂の確保、水辺移行帯のあるべき姿について考えていく。ダムの操作では、一律の操作を避け、洪水をある程度流すなど移行帯の生物の多様性を高める操作などを考えたい。
堀野 善博	<ul style="list-style-type: none"> ・ ダムは、琵琶湖の水位維持のためにつくられると聞いて喜んでいる。 ・ 水位と水鳥の飛来数との間には大きな相関関係があるので、極力、水位を安定させてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 琵琶湖の水位と水鳥の関係は、ご意見として承る。

淀川水系河川整備計画 意見交換会（高島会場 2003/6/29）質問・意見とその回答

発言者(敬称略)	質 問	回 答
堀野 善博	<ul style="list-style-type: none"> ・ 丹生ダムによって、広い琵琶湖の水位維持がどの程度可能であるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水位の維持は琵琶湖周辺に貯留施設をつくっても難しいと考えている。 ・ 平成6年の渇水の際にニゴロブナ、ホンモロコの産卵の期間20日間水位を維持するには15,000万m³必要であった。丹生ダムの有効容量は8,000万m³の容量が確保できる。残りの必要量は大戸川ダムからの振り替え、節水等により、一定期間の水位の維持が可能である。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 丹生ダムの目的の一つに発電があったと思うが、現在は全く考えていないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 丹生ダムは昭和47年に琵琶湖総合開発計画として洪水防御のダムとして位置づけられた。また、下流京阪神地域の利水、環境の維持を目的として計画していた。 ・ 従属発電としてダムから出る水量で発電する計画であった。 ・ 今後、ダム計画を見直すので、貯水池の運用計画などが決まった後に、管理用発電をも含め従属発電の計画を検討したい。
采野 千代造	<ul style="list-style-type: none"> ・ 流域委員会の意見が見直し案にどれだけ、反映されているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 流域委員会の提言では「ダムは原則として建設しない」とされており、厳しい条件が示されている。この提言をダム計画に反映すべく、今後、調査・検討をしたいと考えている。

淀川水系河川整備計画 意見交換会（高島会場 2003/6/29）質問・意見とその回答

発言者(敬称略)	質 問	回 答
采野 千代造	<ul style="list-style-type: none"> ・ ダム建設によって、琵琶湖の水質はより大きく低下するのではないか。 ・ ダムに貯まった水を流すと、琵琶湖の水質に大きな影響を与えるのではないか。ダム建設の理由に水質の保全を付け加えるというのはルール違反ではないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ダム湖の水質の悪化を防ぐためのばっ気装置、下流への冷水の放流に対する対策としての選択取水設備などについても影響が全く無いとは言い切れないので影響を少しでも抑える施設について検討する。 ・ 琵琶湖の水位の維持については、全体的な水位の変化、急速な水位の低下、秋から冬にかけての低い水位、干陸化により、底生動物、沈水植物等が危機的な状況があると認識しており、その対策を考慮した計画である。したがって、ダムによって水質保全を図るものではない。
匿名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 滋賀県には淡海の川づくり会議がある。滋賀県のやっていることと、国はどのような調整をしているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 淀川水系流域委員会は直轄管理区間を対象に、流域すべてを含めて提言をいただいている。 ・ 一方、滋賀県では、淡海の川づくり会議が行われている。淡海の川づくりのメンバーには流域委員会のメンバーも含まれており、流域委員会の議論と淡海の川づくりでは情報は共有されていると考えている。
匿名	<ul style="list-style-type: none"> ・ いずれのダムも用地取得済であり、環境に配慮して事業をすすめるべきである。 	<p>(脇坂)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 貴重なご意見として承りたい。
匿名	<ul style="list-style-type: none"> ・ ダムの目的としては、洪水被害の低減が1番の目的になるべきではないか。 	